

「あいち国文」への投稿について

○「あいち国文の会」の会員にかぎらず、どなたでも投稿できます。締切は三月末日です。

○内容については

- (1) 国文学（日本文学）・国語学（日本語学）に関する論文（翻刻を含む）（四〇〇字詰原稿用紙三〇枚程度）
- (2) 国語教育（日本語教育）に関するもの（三〇枚程度）
- (3) 随想・随筆、研究余滴（二〇枚以内）
- (4) 詩、短歌、俳句その他
- (5) 以上、インターネットをはじめ未発表のものに限る。

○投稿原稿の採否は査読の上編集委員会にて決定します。

審査の上採択になった場合はできる限りUSBメモリー
或いはCD-ROM等の記録媒体で提出してください。

○原稿は採否にかかわらず返却されません。

○採用された場合は電子媒体での公開をいたします。

○執筆者には「あいち国文」二部が贈呈されます。

○原稿三部を左記宛にお送りください。

〒四八〇―一一九八

愛知県長久手市茨ヶ廻間一五二―二三

愛知県立大学 日本文化学部国語国文学科 気付

あいち国文の会

編集後記

「あいち国文」第十二号をお届けいたします。

掲載した十二篇は、論考、随想など従来の順序を踏襲しましたが、取り扱われている内容は全時代に涉っています。

また、久々に短歌群の投稿がありました。愛知県立大学名誉教授の尾崎知光先生が「みまつ会」というクラス会に寄詠されていたのをまとめたものです。詠草の率直な表現を通して、女子にも高等教育の道が開かれたことが映し出されており、歴史を感じさせられます。

一方、名古屋市蓬左文庫蔵『続学舎叢書』翻刻は十二回を重ねました。今回も「柳生鐔之図」をはじめ、貴重な資料が紹介されています。

何れの掲載文からも伝わってくる執筆者の呼吸、存在感。本誌はこの「言論の自由」を遵守する姿勢で、微力ながら社会文化の浸透に協力していく所存です。それ故、多くの方々による真摯な思考の参加を心より願っています。

長谷川文子

編集委員（〇印は委員長）

浅井圭子 片山武 加藤彩 狩野一三 草川昇

熊澤美弓 小谷成子 小林宗治 杉浦邦子 鈴木喬

都築千枝子 名倉ミサ子 野崎典子 〇長谷川文子

山口比砂 山下達治 湯本明子（世話係 本橋裕美）